

「地域課題分野」（平成29年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
高水敷掘削後の再堆積過程に流送土砂の粒度組成と流況が与える影響	岐阜大学 原田 守啓	A
<p data-bbox="199 533 391 566"><研究概要></p> <p data-bbox="199 622 1390 831">本研究は、自然堤防帯区間における高水敷掘削が実施された木曾川水系揖斐川・長良川を対象に、両河川における掘削後の土砂再堆積状況を現地調査等により把握するとともに、両河川の堆積傾向の違いを生じさせている要因を解明することを目的とする。2河川の高水敷掘削地における堆積速度、堆積土砂の分析に加え、出水時のウォッシュロード濃度を2出水期に渡り計測した結果を踏まえ、掘削地堆積土砂の堆積機構を分析し、ウォッシュロード堆積速度予測モデルを提案した。</p>		
<p data-bbox="199 1088 518 1122"><事後評価コメント></p> <p data-bbox="199 1178 438 1211">A評価のためなし</p>		

※評価基準

- A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。
- B：一定の研究成果があった。
- C：研究成果があったとは言い難い。